

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和6年3月31日

事業所名：運動療育センターすまっぴ 香椎浜教室

		チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など	具体的な改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	100%	0%		スペースは基準を満たしています。個室もあり個別での療育を行う場合にはそちらを使用しています。
	2	職員の配置数は適切である	83%	17%	・規約上は適切？かもれないが、支援のことを考えると職員が足りないと思う	理学療法士、作業療法士、児童指導員、様々な有資格者が所在しており、児童に合わせてスタッフの人数も配置しています 不十分な点がある場合には、支援内容や配置などを検討します
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	83%	17%		現状は必要な児童がおりません 必要があれば簡易スロープ等、設置していきます 室内には玄関以外、段差もなくトイレには手すりや台を設置しています
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	83%	17%		日頃の業務や療育に関して、PDCAサイクルによる改善に取り組んでいます 今後PDCAサイクル関する職員の意識向上を継続して促していきます
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	100%	0%		
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	100%	0%		
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	33%	67%		現在、すまっぴでは第三者による外部評価を行っていません 必要に応じて検討していきます
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	83%	17%	・今後行う予定と聞いている。ここ数ヶ月はない	他の放課後等デイサービス事業所の方々と協力し、勉強会を定期的実施しています 法人内での研修も定期的実施している状況ですので、今後も継続していきます
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	83%	17%	・アセスメントが弱い	数か月に一度お子様の評価を行い、面談で保護者様の意向を聞いたうえで個別支援計画書を作成しています よりお子様の状態を把握できるよう、アセスメントの質を高める取り組みを計画しており、今後実施していきます
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	83%	17%		法人内で同じアセスメントツールを使用しています
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	100%	0%		
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	83%	17%	・現状は固定化しがち	毎日会議を実施し、活動プログラムを検討しています プログラムが固定化してしまわないように、内容の検討を怠りなく継続していきます
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	67%	33%		朝礼、終礼を行なっています 今後、アセスメントや評価を拡充するとともに課題の設定もより細かに設定できるようにしていきます
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	100%	0%	・作成は出来ているが実施がまだ未達	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	83%	17%	・最近の土曜日はわからないが、すぐに送迎に出ないといけないうのもあって、簡単にしかできていないのでは？	前日の終礼の時間に翌日の打ち合わせを行うなどにより対策をとっています
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	50%	50%	・チャットワークにあげたり、次回の支援会議のときに話し合えていると思う。	支援についての共有に漏れないように、継続して会議での共有に努めていきます
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	100%	0%		
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	100%	0%		
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	100%	0%			

	チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など	具体的な改善目標	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	100%	0%		
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	100%	0%	・保護者を通して連絡を行うが主	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	17%	83%	・該当児童はいない ・ケガしている児童がいる場合、主治医の人は連絡をとっていないと思う ・現在利用者にいない ・医ケアが必要な児童が現状はいない ・わからない	現在医療的ケアが必要なお子様は受け入れをおこなっておりません。必要に応じて体制を整えます
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	50%	50%	・わからない ・いろは(児童発達支援施設)のみ	担当者会議や支援相談員の方を通して情報共有を行わせてもらっています
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	50%	50%	・移行先に伝達は行っている。就労支援施設は対象者が居ない ・わからない	問い合わせがあれば他事業所へ共有をしています
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	67%	33%		今後、必要に応じて機会を設けていきます
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	0%	100%	・公園活動などのときは、少し関わりもあつたりと思うが、活動する機会はほとんどないと思う	交流を希望されないご家庭が多いこともあり、現在は機会を設けていません
	27	(地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加している	50%	50%	・療育協会へ参加、そのほか無し ・わからない	法人内で役職者が参加しています 各事業所への共有など行なっています
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	100%	0%		送迎時に保護者様と直接お話をして共有をしています
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	50%	50%	・わからない	面談や送迎の機会を活用して適宜お話をさせて頂いています
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	100%	0%	・スタッフ誰もが説明できるようになると良いと思う。	契約時に説明させていただいています スタッフも知識として身につけていくように啓蒙を行っています
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	100%	0%		
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0%	100%	・ゆつくりできる機会が設けられるならあってほしいと思う。	希望されないご家庭も多く、現状では実施しておりません 必要性に応じて適宜検討します
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	100%	0%		
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	100%	0%		
	35	個人情報に十分注意している	100%	0%		
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	100%	0%		
非常時等の対応	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	83%	17%		現状では行なっていません 保護者様のご希望なども勘案しつつ、必要に応じて検討します
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	83%	17%	・現在進行中 ・保護者までは周知できていないと思う。	新たなマニュアルを共有、周知する準備を行なっているところです
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	100%	0%		年に二回必ず避難訓練を実施しています
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	100%	0%	・来年度実施予定	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	83%	17%	・現状は対象者なし、必要に応じて行う予定 ・わからない	契約の際に説明させていただき、やむを得ず行う場合は事前に計画書に記載しています
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	100%	0%		アレルギーのある児童のおやつは、別のおやつボックスを用意することで完全除去を徹底しています
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	67%	33%	・夏まで行っていたが最近は出来ていない	インシデント・アクシデントについては、法人内で全て共有しています